

令和3年4月12日

山口市長 渡辺 純忠 様

徳地地域づくり協議会
会長 板垣 幸



地域おこし協力隊制度の活用について(要望)

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、徳地地域においては、山口市協働のまちづくり条例のもと、徳地全体と5つの地区（出雲・八坂・柚野・島地・串）それぞれで地域づくり計画を策定し、多様な主体が連携・協力し、社会課題や地域課題の解決を継続的に図る協働によるまちづくりを進めております。

令和元年度には、『徳地で安心して暮らしていくための足をつくる』ことを目的とし、暮らしのニーズに合わせたより良い交通体系の構築に取り組む「徳地の交通を考えるプロジェクト」を立ち上げました。交通を切り口に、山口市の担当部局や徳地総合支所の職員の方と地域住民が地域交通について一緒に取り組んだこの2年間は、協働のまちづくりの点からも大変有意義なものであり、今後とも是非継続してゆきたいと考えております。

一方で、過疎高齢化が進む徳地で『安心して暮らしていく』という目的を達成するためには、交通体系の構築だけでなく、地域内外の多様な人材による支え合いの体制づくりやソーシャルビジネスの創出など新たな取り組みも必要であり、この取り組みをサポートする人材として、地域おこし協力隊制度を活用したいと考えております。

つきましては、次のとおり要望いたします。

記

1. 徳地地域の課題を把握し、支え合いやソーシャルビジネス等による解決に取り組む地域おこし協力隊を導入する。
2. 徳地総合支所をはじめ、地域住民の暮らしに関する市関係部局が連携し、中山間地域の課題解決をなりわいとした暮らしのモデルとなるよう、地域おこし協力隊の育成・助言等を行う。
3. 地域おこし協力隊の活動にあたっては、徳地の交通を考えるプロジェクト等への参加をはじめ、徳地地域づくり協議会や5地区地域づくり協議会がサポートする。

以上